



県中学校体育連盟の主催で、7月9日、10日、16日から19日までの延べ6日間にわたり行われた「第63回県中学校総合体育大会」。市内中学校から多くの選手が入賞しました。今回は、県大会で優勝した選手の方々が語ってくれた、大会を振り返っての思いや今後の抱負などを紹介します。



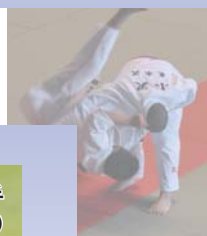
喜びのハイジャンプ！（南都田中ソフトテニス女子）



ソフトテニス女子団体で南都田中が18年ぶりに優勝

栄冠を手にした選手の横顔

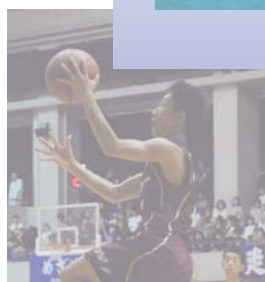
—— 第63回 県中学校総合体育大会 ——



ゴールの瞬間、右手を突き上げる菊地琳太郎選手（水沢南中、陸上男子110mハードル）



個人2冠を達成した今野文翔選手（水沢南中、水泳男子200m個人メドレー、水泳男子400m個人メドレー）



奥州エフエム放送「さと☆くら」（毎週日午後5時～）に出演中

蔵まちモールにあるカフェの一角に、軽快なトークと笑い声が響く。佐藤克也さんは、歴史公園えさし藤原の郷と江刺区の情報を、ラジオの電波に乗せてリスナーに届ける。市内の高校を卒業後、当時開園2年目を迎えた同園を運営する江刺開発振興（株）に就職。高卒新卒者としては会社で第一号の採用だった。

最初の仕事は入場券販売とパンフレット配布。多くの来場者に顔を上げる暇がないほどの目まぐるしい毎日に「江刺ってこんなにすごいところだったのか」と地元の底力に驚き「江刺のためになる仕事をしたい」と強く思った。平成23年に現在の部署に配属されると、広告塔として市内外に情報を発信するほか、企画にも携わり、芸能団体や学生の発表、地域活動の場など、市民が同園を活用できるイベントを開催してきた。

〈今月の表紙〉



奥州前沢よさこいFesta XII（同Festa実行委員会主催）が7月10日、前沢区内で開催されました。県内外から42チーム、総勢1000人を超える踊り手が参加。開会式後、熊本地震被災地の復興を願った総踊り「熊本に届け！踊るよさこい愛日本」を披露した参加者は、イオン前沢店駐車場とアスティ商店街に設けられた3つの会場で、熱気溢れる演舞を繰り広げました。写真は、江刺区のよさこいチーム「江刺華舞斗」による演舞の一コマ。りりしい表情とダイナミックな舞いに、観客から大きな拍手が送られていました。



佐藤克也さん（40歳）
江刺区田原字後田

市民から愛される 憩いの歴史公園に



広報おうしゅう
Public Relations Magazine
Oshu City
Vol.126
2016

8

CONTENTS

- キラリ輝く奥州人
- 【特集】栄冠を手にした選手の横顔 —第63回県中学校総合体育大会—
- おもっちニュースレター
- 市・県民税 公的年金からの特別徴収制度が変わります
- 奥州ふるさと応援寄附 謝礼品を募集します
ILC絵画コンクール作品募集中！
- 食中毒を予防しよう
- まちの話題
- 市政ズームイン
- 夢トーク
青春讃歌
- 雨の日も晴れの日も
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 我が家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- トマス・アンナの あんなこと
こんなこと
姉妹都市 掛川だより
- 情報あらかると
- 奥州遺産

地域の個性が
ひかり輝く
自治と協働のまち
奥州市